

○ 研究プロジェクト「人間力マネジメントとその展望
ー理論化と実践に向けてー」

開催責任者 経営学部 高橋弘司

2005年12月3日

2006年3月12日

南山大学名古屋キャンパス J棟 51教室

研究プロジェクトは以下のとおり、2回にわたり開催された。

◇ プロジェクト構成員および所属

(常任構成員)

高橋弘司 (南山大学経営学部)
安藤史江 (南山大学経営学部)
藤本哲史 (南山大学外国語学部)
嶋根政充 (明海大学経済学部)
高橋 潔 (神戸大学経営学部)
谷口真美 (早稲田大学商学部)
牛尾奈緒美 (明治大学情報コミュニケーション学部)
萩原扶未子 (南山大学大学院経営学研究科博士前期課程)
その他若干名

◇ 研究プロジェクトの討論内容および進展状況

「人間力」は、昨今盛んに耳目を敬て数多くの関連書籍にて扱われる用語であるが、その意味するところについては不透明の誇りを免れ得ない。しかし、厳密な操作的定義は困難であっても、今後の日本社会・日本経済において重要性を増すキーワードとなりうることを構成員2名(高橋弘司・嶋根政充)はかねてより議論していた。本プロジェクトは、その人間力という概念を学術的に経営学において扱うほぼ最初の試みであり、広くミクロ・マクロ組織論研究者を中心に構成員を募ったものである。

第1回会合では、基調報告と多岐にわたる議論の末、人間力の定義の冗長性を排し、「知・情・意」の3側面から構成する暫定的定義が提示され、マネジメントや組織論における応用範囲、変数としての有効性について議論が深められた。なお、その成果の一部は経営行

動科学学会第8回年次大会においてパネルディスカッションとして報告がなされた。

第2回会合においては、先の会合で統一の見解を示すに至らなかった諸点についてさらに議論が深められ、今後の発展性を模索する試みがなされた。

現在は、本プロジェクトの成果に興味を示す出版社との間で将来的に人間力マネジメントに関する書籍執筆計画が進行中である。

◇研究成果発表

著 名 者：高橋弘司、安藤史江、藤本哲史、嶋根政充、高橋潔、谷口真美、牛尾奈緒美

題 目：人間力マネジメントのフロンティア—社会や組織で生き抜くための知情意を
どのようにデザインしマネジメントするのか—

発表雑誌：経営行動科学学会第8回年次大会＜慶応義塾大学日吉キャンパス＞

発行年月：2005年11月12日

* これから発表される計画

『人間力マネジメントのフロンティア』（仮題） 白桃書房

（執筆は構成員より希望者を募る予定）